

柳田國男・佐々木喜善旧居跡説明板設置について

【発表の要旨】

遠野市出身で中央大学名誉教授である田野崎昭夫先生の調査の結果、『遠野物語』が執筆された当時の柳田國男（著者）と佐々木喜善（話者）の旧居跡が判明したことから、『遠野物語』発刊 100 周年を機に両者の功績を讃え広く周知するため、両者の旧居跡に説明板を設置する。

1 説明板設置の経緯

遠野市では、明治 43 年に発刊された『遠野物語』が、今年で 100 周年を迎えたことから、様々な記念事業を開催しています。6 月 12、13 の両日には、遠野物語発刊 100 年祭を開催し、6 月 14 日を「遠野物語の日」と定め、100 年の時を越えて今なお光輝くこの遠野の宝を長く後世に語りついでいくことを宣言いたしました。

このような中、遠野市出身で中央大学名誉教授である田野崎昭夫先生の調査により、『遠野物語』が執筆された当時の柳田國男と佐々木喜善の旧居跡が確認できたことから、今般、学校法人大妻学院様並びに凸版印刷株式会社様のご協力をいただき、説明板を設置するはこびとなりました。

2 『遠野物語』誕生の経緯

明治 41 年（1908）11 月 4 日、柳田國男（1875～1962）は、小説家・水野葉舟の紹介により、遠野出身で早稲田大学在学中だった佐々木喜善（1886～1933）と出会い、喜善から、遠野に伝わる不思議な話を聞きました。喜善は当時、文京区の下宿に住み、毎月のように柳田の求めに応じて柳田宅を訪れ遠野の話をしていました。

明治 43 年（1910）6 月 14 日、119 話にまとめられた『遠野物語』が出版（350 部）されました。

3 設置場所

(1) 柳田國男旧居跡

現住所 東京都新宿区市谷加賀町 2 丁目 4 番 31 号（現在は、大妻女子大学加賀寮）

旧住所 東京市牛込区加賀町 2 丁目 16 番地

(2) 佐々木喜善旧居跡

現住所 東京都文京区水道 1 丁目 3 番地 3 号

（現在は、凸版印刷株式会社トッパン小石川ビル）

旧住所 東京市小石川区武島町 3 番地古川方

4 除幕式

日時 平成 22 年 11 月 4 日（木） 午後 1 時 30 分～ 柳田國男旧居跡
午後 3 時～ 佐々木喜善旧居跡

担当	文化政策部文化課（新田） 電話 0198-62-2340（内線 321）
----	---

